

注目 ニュース	#	日付	FA名	ニュースタイトル	ニュース概要	感染症種別	ニュース種別								関連リンク		
							FAの 戦略/方針	ワクチン開発 進捗	取組		資金提供			イベント		組織設立 ・再編	
									当該FA	支援対象機関	重点感染症	その他疾患	外部からFAへ				
	249	2023/11/2	NIH	Tonix Pharmaceuticals' Vaccine Candidate, TNX-1800, Selected by NIH/NIAID Project NextGen for Inclusion in Clinical Trials	NIH NIAIDが、Project NextGenの一環としてCOVID-19経皮投与ワクチン候補であるTNX-1800を用いたPhase1試験を2024年下半期に開始する予定であることを発表。NIAIDは臨床試験の全費用を負担している。TNX-1800は組換え馬痘生ウイルスワクチンであり、SARS-CoV-2のスパイクタンパク質を発現。また、TNX-1800のベースとなるベクターで構成される天然痘・サル痘ワクチン候補TNX-801では、免疫不全マウスでVACV株よりも 1,000 倍以上弱毒化されることが示されたとしている。	コロナウイルス感染症		●		●	●						リンク
	250	2023/11/2	CEPI	CEPI and University of Oxford advance vaccine work against potentially deadly Arenaviruses	CEPIは、University of Oxfordに最大25mドルを提供することを発表。フニウイルスに対するワクチンの前臨床およびPhase1試験を通じたプロトタイプ開発を早期に完了させるとともに、ChAdOx技術の製造速度とスケールアップの向上も目指すとしている。当該プロジェクトは、2023年8月に発表されたCEPIとオックスフォード大学の戦略的パートナーシップの下で開始される最初のプロジェクトである。	アルゼンチン出血熱 (アレンウイルス/フニ ウイルス)		●	●		●						リンク
	251	2023/11/2	BARDA	Battelle Part of Team Selected to Support New Technologies to Prepare for Future COVID-19 Outbreaks	BattelleはProject NextGenの一環として、ヒト肺微小生理学的システム（microphysiological system：MPS）プラットフォームを開発するために、BARDAから6.1mドルを助成されたことを発表。当初はSARS-CoV-2感染のin vitroモデリングと治療法の検討を可能にする系として開発されるが、将来的にはインフルエンザも視野に含まれており、mRNAによるモノクローナル抗体の開発スケジュールの短縮、ウイルス検査の効率の向上、ワクチン投与の代替経路の検討に貢献する可能性があるとしている。当該プロジェクトは、BARDAとBattelleとの無期限納品/無期限数量（indefinite delivery/indefinite quantity：IDIQ）契約の一部として実行される予定。	コロナウイルス感染症		●	●		●						リンク
	252	2023/11/6	CEPI	The Netherlands bolsters world's pandemic preparedness with increased CEPI funding	オランダ保健スポーツ福祉省（Dutch Ministry of Health, Sports and Welfare）は、世界的な流行への備えを強化するためにCEPIに対し追加で14mユーロを提供することを発表。オランダ政府は2020年、CEPIに対し新型コロナウイルス感染症ワクチンポータルを推進するために、最初に50 mユーロを投資。	コロナウイルス感染症	●		●		●						リンク
	253	2023/11/8	WHO UNICEF Gavi	WHO, UNICEF, and Gavi, the Vaccine Alliance pass the mid-point of the global 10-year strategy to eliminate yellow fever epidemics	WHO、UNICEF、Gaviが主導するパートナーシップである黄熱病流行撲滅戦略（Eliminate Yellow Fever Epidemics Strategy：EYE Strategy）は、2022年の中間評価報告書（2017年～2021年）を発表。EYE Strategyの世界的な連携による貢献で、2017年以来アフリカでは黄熱病単回接種ワクチンによって2億2,600万人が保護されてきたとしている。また、課題として、予防・管理措置のための各国政府の関与を強化する必要性や、アウトブレイクへの準備、対応にも引き続き重点を置く必要があることに言及をしている。	黄熱病	●		●		●						リンク
	254	2023/11/8	UKRI	Improving the way we prepare for future COVID-19 variants	Science and Technology Facilities Council's（STFC）Hartree Centre、IBM Hartree National Centre for Digital Innovation（HNCDI）と共同で、人工知能技術を用いた分子シミュレーションにより、SARS-CoV-2の変異について、Sタンパク質がヒト受容体の標的と接触する構造を調査した結果を報告。オミクロン株の変異が元の野生型株、2つのオミクロン亜種と比較し、生物物理学的特性（変異Sタンパク質配列によって修飾された電荷や柔軟性など）の観点から、S受容体複合体の構造構造の変化にどのようにつながるかを明らかにした。	コロナウイルス感染症					●	●					リンク
★	255	2023/11/10	WHO BMGF	Accelerating Vaccine Development for Global Health Impact - a WHO Initiative to Prioritize Key Endemic Pathogens	WHOは世界的な風土病原体に対するワクチン開発の促進と優先事項の情報提供の一環として、Vaccine Value Profiles（VVP）を発売。VVPはワクチンのパイプラインおよび類似製品に関する、潜在的な公衆衛生、経済的、社会的価値について整理をおこなうため、現在入手可能な情報とデータの高レベルかつ全体的な評価を提供することを目的としている。 次の16のVVPが、全2巻として出版される予定であり、今回第1巻が発出。 第1巻：呼吸器合胞体ウイルス（RSV）、B 群連鎖球菌、CMV、赤痢菌、バラチフス菌A、腸毒素原性大腸菌/ロウイルス、リーシュマニア症、顧みられない熱帯病。 第2巻：肺炎桿菌、淋菌等（2023年後半予定） VVPはBMGFからの資金援助のもと、WHOの予防接種・ワクチン・生物製剤（Immunization, Vaccines and Biologicals：IVB）部門によって委託され、IVBのワクチン製品開発諮問委員会（Product Development for Vaccines Advisory Committee）の推奨に基づき、専門家によって作成された。	複数の感染症					●	●	●	●			リンク
	256	2023/11/16	BMGF	Micron Biomedical Receives \$23.6 Million to Accelerate Commercial Manufacturing of Needle-Free Vaccines and to Help Eradicate Measles	Micron BiomedicalはBMGFから無針ワクチンの大量生産に向けて、23.6mドルの助成金受けることを発表。製造施設への投資により、生後9か月の小児を対象とする初のマイクロアレイ技術ベースの麻疹風疹ワクチンの商品化が可能になるとしている。	風疹、麻疹							●		●		リンク
	257	2023/11/20	UNICEF Gavi	UNICEF and Gavi donate IT and waste management equipment to the Ministry of Health worth US\$3.2 million to strengthen Uzbekistan's immunisation programme	UNICEFとGaviはウズベキスタン保健省に対し、予防接種プログラムのためのIT機器の寄贈を含む3.2mドル超の支援を発表。 寄贈されたIT機器には3,000台のタブレットと 221台の遠隔温度監視システムが含まれており、ウズベキスタンの予防接種プログラムのデジタル化を支援するとしている。	-									●		リンク

258	2023/11/20	UKRI	CVIM achieves significant milestones in just one year	UK Centre for Veterinary Vaccine Innovation and Manufacturing(CVIM)が、初年度に多くの重要なマイルストーンを達成したことを発表。 強固なガバナンス体制の確立、有能な人材の採用、機器・施設整備、タンパク質発現・RNA・ウイルスベクター技術を用いたワクチンプラットフォーム開発に対する4つの主要プロジェクトに着手を、達成したマイルストーンとして挙げている。また、Pirbrightにおけるワクチンインベーション施設設計・建設計画を2024年に向けて最終決定する予定であるとしている。	-															リンク	
259	2023/11/26	Gavi WHO UNICEF	SHIPMENTS TO AFRICAN COUNTRIES HERALD FINAL STEPS TOWARD BROADER VACCINATION AGAINST MALARIA: GAVI, WHO AND UNICEF	WHOが推奨する世界初のマリアワクチンRTS,Sの出荷がカメルーンに向けて開始されたことを発表。これまでマリアワクチン実施プログラム(Malaria Vaccine Implementation Programme : MVIP)のパイロットプログラムに参加していなかった国への初めての配送であり、アフリカ大陸で最もリスクの高い地域におけるマリアワクチン接種の規模拡大がまもなく開始されている。 MVIPは、WHOがPATH、UNICEF、その他パートナーと協力して調整され、Gavi、世界基金、UNITAIDが資金提供をおこなうプログラム。また、RTS,Sワクチンは製造元であるGSKから寄贈を受けている。	マリア																リンク
260	2023/11/27	CEPI	EMA Accepts Valneva's Chikungunya Vaccine Marketing Authorization Application for Accelerated Assessment	Valnevaは、単回チクングニア熱ワクチン候補VLA1553について、EMAが製造販売承認申請の技術的検証を実施したことを発表。Marketing Authorization Application (MAA) は、ワクチン候補の「公衆衛生と治療技術革新に対する大きな関心（major interest for public health and therapeutic innovation）」に基づいて、EMA CHMPによって先月、早期評価が認められた。 VLA1553は、2023年11月9日にIXCHIQとして、FDAに承認されている。また、EMAから2020年にPRIME指定、2023年に迅速評価が付与されていた。 VLA1553の開発は2019年7月にCEPIとValnevaの間で署名された協定の枠組みで進められ、またEU Horizon 2020プログラムの支援を受けて実施された。	チクングニア熱																リンク
261	2023/11/27	Gavi WHO UNICEF	Togo introduces human papillomavirus vaccine to protect adolescent girls from the leading cause of cervical cancer	トーゴ政府は、Gavi、WHO、UNICEF、国連人口基金（UNFPA）を含むパートナーの支援を得て、子宮頸がんを予防するためのHPVワクチンを、定期予防接種システムに組み込むことを発表。	HPV感染症																リンク
262	2023/11/28	CEPI	CEPI, IVI and MRC Unit The Gambia partner to bolster clinical research capacity in West Africa to combat regional viral threats	CEPI、International Vaccine Institute (IVI)、ガンビア医学研究評議会部門は、西アフリカ研究準備プログラムの立ち上げを発表。地域の臨床試験能力と疾病発生への備えの強化を目的としており、具体的にはラッサ熱ワクチンのPhase2b/3試験を実施するための臨床研究能力を強化することを支援するとしている。	ラッサ熱																リンク
263	2023/11/28	BARDA	Emergent BioSolutions Receives \$75 Million Contract Option from BARDA to Procure Doses of CYFENDUS(TM) (Anthrax Vaccine Adsorbed, Adjuvanted)	Emergent BioSolutions は、FDAが承認した炭疽菌ワクチンCyfendusの購入について、75mドルの契約を確保したことを発表。 Cyfendusは2023年7月に、18歳以上の個人の曝露後予防に使用する2回投与炭疽菌ワクチンとしてFDAによって承認。今回、Emergentの既存契約（HHS0100201600030C）にオプションを付与する形で契約となった。	炭疽菌																リンク
264	2023/11/28	NIAID	ATCC Announces Comprehensive and Rapid Response to NIAID Research Programs (CARRRP) Award from NIAID	生物材料管理・標準化団体であるATCCは、NIH NIAIDから無期限納品/無期限数量（Indefinite Delivery/Indefinite Quantity:IDIQ）契約に基づく業務命令を受注したと発表。 本契約は、NIAID研究プログラムに対する包括的かつ迅速な対応（CARRRP）の下にある保管施設任務領域の一部。 本契約により、基礎科学、前臨床、臨床、アッセイ開発、ワクチン生産にわたり、ATCCは迅速で質の高いサービスをNIAIDに提供するとしている。	-																リンク
265	2023/11/30	WHO	WHO, partners urge stronger action to accelerate childhood vaccination in Africa	WHOとパートナーは、Immunization Agenda 2030の目標達成に向けて、アフリカ大陸におけるすべての子どもたちにワクチンを届けるための行動を加速するよう促すことを、第3回アフリカ公衆衛生国際会議（Conference on Public Health in Africa : CPHIA）で開催されたWHO主導イベント「Putting Africa back on track to achieve the goals of the Immunization Agenda 2030」にて発表。	-																リンク

注目ニュース星取ルール
感染症種別が重点感染症かつFAが投資しているワクチンの開発状況に関わるニュース
FAの戦略/方針の中でも特にワクチンや重点感染症に関連するニュース
その他 ワクチン開発関連においてAIの活用など新規技術の活用がされているニュース